



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 高松機械工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6155 URL https://www.takamaz.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高松 宗一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 管理本部長 (氏名)四十万 尚 (TEL) 076-274-1410
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,156	4.8	378	31.0	419	26.8	281	25.8
2019年3月期第1四半期	4,920	45.1	288	135.2	330	152.0	223	170.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 311百万円(113.0%) 2019年3月期第1四半期 146百万円(80.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	26.12	25.96
2019年3月期第1四半期	20.62	20.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	23,701	14,705	61.9
2019年3月期	23,737	14,528	61.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 14,669百万円 2019年3月期 14,490百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.00	—	14.00	22.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	10.00	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,672	20.3	1,302	44.9	1,383	41.0	985	46.3	91.64
通期	23,835	5.2	2,454	5.4	2,579	3.2	1,819	6.4	169.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	11,020,000株	2019年3月期	11,020,000株
2020年3月期1Q	244,745株	2019年3月期	266,745株
2020年3月期1Q	10,759,013株	2019年3月期1Q	10,833,256株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、通商問題の動向や、中国経済の先行きなど海外経済の不確実性が懸念される中、輸出や生産に弱さが見られたものの、雇用・所得環境の改善や、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループの主力分野である工作機械業界においては、国内外ともに通商問題の影響を受けるなど、設備投資に対し慎重姿勢が増し、当第1四半期連結累計期間の業界受注総額は、前年同期比33.0%減少の3,161億円となりました。

このような状況の中で、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結売上高は前年同期に比べ2億36百万円(4.8%増)増収の、51億56百万円となりました。売上高の増加に伴い、営業利益は3億78百万円(前年同期比31.0%増)、経常利益は4億19百万円(同26.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億81百万円(同25.8%増)の増益となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

① 工作機械事業

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、受注高が29億18百万円(前年同期比49.8%減)、受注残高が177億57百万円(同11.9%減)、売上高は45億円(同3.1%増)、営業利益は3億19百万円(同16.6%増)となりました。

受注高の地域別内訳は、当社の既存ユーザにも設備投資に慎重な動きが見られ、国内及びアジア向けが大きく減少した結果、内需が16億65百万円(同58.7%減)、外需が12億53百万円(同29.7%減)となりました。

売上高の地域別内訳は、前年同期に比べ、国内向けが同程度を維持し、アジア向けが増加した結果、内需が27億83百万円(同0.3%減)、外需が17億16百万円(同9.2%増)、外需比率が38.2%(前年同期は36.0%)となりました。

当第1四半期連結累計期間における主な取り組みとして、自動化技術を付加した最適なソリューションの提案によって受注確保をはかるとともに、自動車産業以外の市場開拓に向けた営業活動にも注力してきました。また、中国最大の国際展示会であるCIMT2019への出展、タイでプライベートショーの開催、ドイツでヨーロッパ現地ディーラ会議の開催など、海外シェア拡大に向けたエリア戦略を推進してきました。

生産面では、高水準の受注残高に対応しフル生産を続ける中で、生産計画の進捗管理機能強化による生産管理業務の効率化、物流システムの見直しと5Sの推進による適正な在庫管理に取り組むなど、最適生産の実施に努めてきました。

② IT関連製造装置事業

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が4億49百万円(前年同期比32.0%増)、営業利益が65百万円(同313.0%増)となりました。

半導体関連の既存取引先からの需要が見通しを上回って堅調に推移してきたことに加え、その他の既存取引先からも安定的な需要が継続してきたことで、四半期ベースで過去最高となる売上高を計上しました。

③ 自動車部品加工事業

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は2億7百万円(前年同期比3.1%減)、営業損失は6百万円(前年同期は1百万円の営業損失)となりました。

既存加工部品の受注数量が堅調に推移する中で、適切な生産対応とコストダウンに努めるとともに、新規受注獲得にむけた営業活動を積極的に取り組んできました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は237億1百万円で前連結会計年度末に比べ36百万円の減少となりました。

区分別にみますと、流動資産は172億36百万円となり、前連結会計年度末に比べて75百万円減少しました。その主な要因としては、現金及び預金が4億72百万円、たな卸資産が2億54百万円増加したものの、電子記録債権が9億35百万円減少したことによるものです。

固定資産は64億64百万円となり、前連結会計年度末に比べて39百万円増加しました。その主な要因としては、投資その他の資産のその他(繰延税金資産等)が69百万円増加したことによるものです。

次に当第1四半期連結会計期間末の負債は89億95百万円で前連結会計年度末に比べて2億13百万円の減少となりました。

区分別にみますと、流動負債は74億85百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億79百万円減少しました。その主な要因としては、流動負債のその他(未払費用等)が4億43百万円、支払手形及び買掛金が1億28百万円増加したものの、未払法人税等が3億35百万円、電子記録債務が2億18百万円、賞与引当金が1億56百万円減少したことによるものです。

固定負債は15億10百万円となり、前連結会計年度末に比べて33百万円減少しました。その主な要因としては、長期借入金が37百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は147億5百万円で前連結会計年度末に比べて1億76百万円の増加となりました。その主な要因としては、利益剰余金が1億30百万円増加したことによるものです。なお、自己資本比率は61.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月9日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,024	4,497
受取手形及び売掛金	3,404	3,497
電子記録債権	5,843	4,907
商品及び製品	731	1,002
仕掛品	1,874	1,827
原材料及び貯蔵品	1,021	1,051
その他	424	461
貸倒引当金	△11	△8
流動資産合計	17,311	17,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,421	1,398
土地	2,461	2,461
その他（純額）	886	881
有形固定資産合計	4,769	4,741
無形固定資産	31	29
投資その他の資産		
その他	1,659	1,728
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	1,624	1,693
固定資産合計	6,425	6,464
資産合計	23,737	23,701

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,513	1,641
電子記録債務	3,576	3,358
短期借入金	790	790
未払法人税等	533	198
賞与引当金	241	85
役員賞与引当金	45	11
製品保証引当金	74	66
その他	890	1,334
流動負債合計	7,665	7,485
固定負債		
長期借入金	507	469
退職給付に係る負債	576	583
長期未払金	379	379
その他	80	77
固定負債合計	1,543	1,510
負債合計	9,208	8,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,814	1,810
利益剰余金	10,830	10,960
自己株式	△245	△225
株主資本合計	14,234	14,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	85
為替換算調整勘定	203	241
退職給付に係る調整累計額	△42	△38
その他の包括利益累計額合計	256	288
新株予約権	28	27
非支配株主持分	10	8
純資産合計	14,528	14,705
負債純資産合計	23,737	23,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	4,920	5,156
売上原価	3,751	3,873
売上総利益	1,169	1,283
販売費及び一般管理費	880	905
営業利益	288	378
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	7	5
持分法による投資利益	20	32
その他	31	9
営業外収益合計	59	49
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	16	7
その他	0	0
営業外費用合計	17	8
経常利益	330	419
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	330	419
法人税、住民税及び事業税	137	174
法人税等調整額	△29	△34
法人税等合計	108	139
四半期純利益	222	279
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	223	281

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	222	279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	△10
為替換算調整勘定	△41	25
退職給付に係る調整額	△0	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	12
その他の包括利益合計	△76	31
四半期包括利益	146	311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147	312
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。